

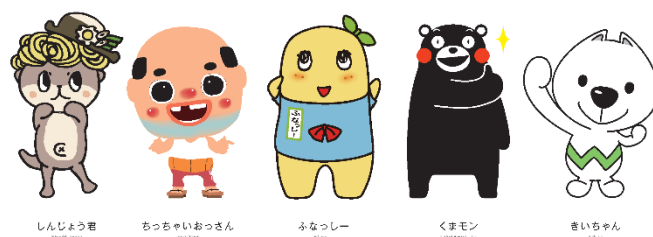
平成 27 年度内閣府 地震・津波防災訓練 【兵庫県香美町】

実施報告書
(概要版)



 **内閣府**
Cabinet Office, Government of Japan

11月5日は津波防災の日



しんじょうじ

ちっちゃいおっさん

ふなっしー

くまモン

きいちん

津波防災ひろめ隊
2015-2016

わたしたちご当地キャラクターが、津波防災の取り組みを多くの人にひろめるお手伝いをします。

兵庫県香美町について

香美町（かみちょう）は、兵庫県の日本海側に位置し、海に面した香住区、山に面した村岡区・小代区からなります。

人口は約19,100人、総面積約369km²のエリアに山と海の地域特性が数多くあります。今回の訓練を行った香住区は、季節により「松葉ガニ」をはじめとする新鮮な海の幸の宝庫でもあります。

現在、香美町では、「安全・安心な生活環境を育むまちづくり」を町総合計画の基本理念に掲げ、毎年全集落が同時に行っている町総合防災訓練をはじめ、様々な防災対策に取り組んでいます。



地図出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：11月8日（日）午前9時に、震度6弱の地震が発生。香住区の沿岸地域では、約3mの津波が予想された。香美町は、地震発生後ただちに災害対策本部を設置するとともに、住民に対し防災行政無線等により津波からの避難を呼びかけた。
- 実施日時：平成27年11月8日（日）9：00～12：00
 - シェイクアウト訓練、津波避難訓練 9：00～9：30
 - 避難所開設訓練 9：30～10：00
 - 合同防災訓練・体験・見学 10：00～11：00
 - 防災講演会 11：00～12：00
- 主催：内閣府、香美町
- 参加者数：600名（※参加機関を含む。）
- 参加機関：香住自治区、西香住区、七日市区の自主防災組織、香美町消防団、美方広域消防本部、美方警察署、香美町社会福祉協議会、香住調理ボランティア、香美町赤十字奉仕団、陸上自衛隊姫路駐屯地、香美町防災士連絡会

当日の訓練内容

09:00～ シェイクアウト訓練、津波避難訓練

自らの命は自ら守るという「自助」の取り組みに重点を置いたシェイクアウト訓練を各家庭で、「自助」と相互に助け合う「共助」の取り組みに重点を置いた津波避難訓練を4箇所の避難場所で行い、発災から津波到達までの避難行動について確認した。

▼シェイクアウト訓練



▼津波避難訓練



9:30～ 避難所開設訓練

町災害対策本部が無線にて、各避難場所の避難者数を確認した。その後、香住小学校体育館においては避難所を開設し、香住小学校に避難した住民を受付する訓練を実施した。

▼町災害対策本部



▼避難所の開設（受付）



10:00～ 合同防災訓練・体験・見学

香住小学校グラウンドにおいて、応急救護所設置・運営訓練、自動車救助訓練、炊き出し訓練を行い、香住小学校体育館において東日本大震災当時のパネル展示を行い、訓練の体験・見学により参加者の地震・津波防災に対する意識の高揚を図った。

▼自動車救助訓練



▼応急救護所設置・運営訓練



11:00～ 防災講演会、給食、防災・啓発グッズの提供

香住小学校体育館において、元消防職員で東日本大震災の経験者でもある佐藤敬一氏による防災講演会を行い、経験を基にした話から地震・津波防災に対する意識の高揚を図った。

▼防災講演会



▼炊き出し訓練

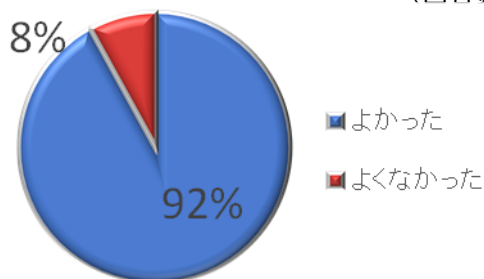


アンケート結果

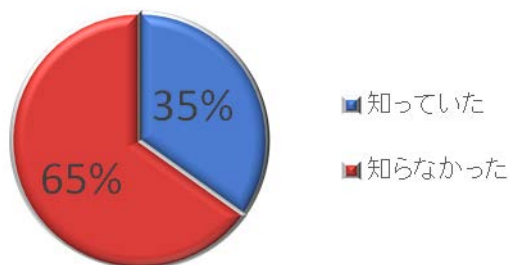
住民の方々の防災意識や津波避難対策への取り組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。(回答数：201人)

問 訓練に参加して、どう思いましたか？

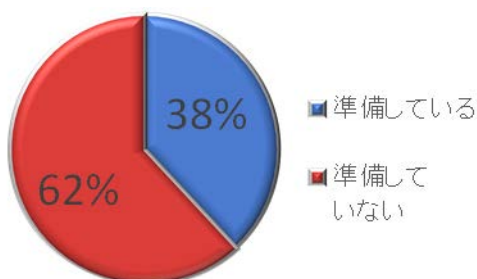
(回答数：188人)



問 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていますか？(回答数：198人)



問 地震等に備えて、非常用持出し袋等を準備していますか？(回答数：197人)



訓練の評価

訓練当日は、小雨のためヘリコプターを使用した訓練は中止となったが、自主防災組織（地域住民）と参加機関等を合わせ約600名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、自主防災組織及び参加機関の代表による反省会における意見、地域住民のアンケート結果等を分析し、今後の防災・減災対策や防災訓練の参考となるよう「課題と対策案」として整理した。この結果、本訓練は以下のように評価できるものであったといえる。

- 地域住民からは「参加して良かった」という意見が大半を占め、今回の訓練は地震・津波防災の一連の行動を学ぶ効果的な機会となった。
- 参加した機関では、複数が同時に連携して訓練に臨む意義が理解された。
- 訓練準備段階では、役場からの協力呼びかけにより関係機関によるチームワークができ、今後の訓練の継続の土台を構築できた。

また、次のような課題が指摘された。

- 災害対策本部設置訓練を通じて、役場と現地との連絡体制を具体的に検討すべきことが明らかになり、今後は、災害対策本部の役割と関係機関等の連携を検証する訓練も必要である。
- 応急救護所設置・運営訓練は、今回は初歩段階として見学形式としたが、今後は負傷者の手当方法の解説や実演体験を加えるなど、自助・共助の実効性の向上を見据えた訓練へ発展させる必要がある。
- 香美町は海水浴場を有するなど観光客の滞在者も多いことから、今後は観光客の訓練参加の盛り込みを考えていく必要がある。